

日本都市学会 第72回大会

大会案内 第2報

10月1日更新

PeatixのURL情報も併せて御覧ください。
URL (<https://urbanology-saga.peatix.com>)

最終ページに会場周辺のホテル予約状況について掲載しました。

Peatixからの参加申し込み締め切りは、当初9月末までとしておりましたが、10月10日まで延長いたします。上記URLよりお申し込みください。

なお、大会当日の受付も行いますが、エキスカンション、懇親会は、人数に達し次第、受付終了いたします。弁当の注文も受け付けません。また当日受付の方の大会発表要旨集の配布は、なくなり次第終了いたしますので、ご了承ください。

スポーツとまちづくり

—する・観る・支えるの3つの観点から—

2025 年 11 月 7 日(金)・8 日(土)・9 日(日)

会場: 佐賀大学 本庄キャンパス

【主催】日本都市学会、九州都市学会

【後援】佐賀県、佐賀市、佐賀市教育委員会

スポーツとまちづくり —する・観る・支えるの3つの観点から—

日本都市学会会長 山崎 健

九州都市学会会長 石川 雄一

大都市と地方都市の格差拡大は、日本社会の深刻な課題である。地方都市では人口減少や産業の衰退、若者の流出などが進み、地域社会の存続が危ぶまれている。こうした中、スポーツが地域活性化の新たな手段として注目を集めている。

従来の商業活性化を中心とした都市再生策では十分な成果を上げられず、近年は地域の特性に応じた多様な取り組みが展開されている。例えば、テレワークの推進やICTの活用による移住促進策、地域の特産品や歴史文化を活かした観光振興策、インバウンド観光の誘致、起業支援を伴う産業振興策などが挙げられる。これらは地域資源を最大限活用し、多様な主体が連携する方向へと進化している。また、地域イベントの開催や住民同士の絆を深める取り組みなど、地域コミュニティの活性化を重視する動きも見られる。

こうした潮流の中で、スポーツが重要な役割を担い始めている。日本全体の高齢化や健康意識の高まりを背景に、スポーツを通じた地域振興策が各地で実施されている。スポーツイベントの開催やスポーツツーリズムの推進を通じて地域の魅力を高め、経済活性化を図る試みが増えている。

スポーツには「する・観る・支える」の3つの側面があり、幅広い影響を及ぼす。誰もが気軽にスポーツを楽しめる環境整備や住民の健康増進、アリーナを複合施設として活用する都市再生の手法、地域スポーツ団体の支援を通じた地域愛着の醸成などがその例である。また、スポーツを活用した国際交流の推進や、経済・社会・文化面での波及効果も期待されている。

スポーツ振興策とまちづくりは相互に影響し合いながら発展している。最近では、地方自治体が地域活性化の一環としてプロスポーツチームの誘致や創設を進める事例が増えている。しかし、施設の建設・維持管理の財源確保、人材育成、住民の意識改革などの課題も存在する。スポーツを単なる娯楽にとどめず、社会全体の課題解決と結びつけることが求められる。また、市民が気軽にスポーツを楽しめる環境づくりも重要である。

本大会では、スポーツ振興策が地域経済の活性化やコミュニティ形成、地方都市再生にどのように貢献するのか、具体的な事例を交えながら考えていきたい。

日本都市学会 第72回大会 全体プログラム

11月7日（金）

14:00～17:00 エクスカーション(13:50 徴古館前集合)

ガイド:有馬隆文(佐賀大学 教授)

見学先:徴古館・佐嘉神社⇒わいわい!!コンテナ2⇒
開運さが恵比須ステーション⇒佐賀市歴史民俗館⇒柳町散策

※天候により変更有。

※参加費3,000円(資料代、入場料、喫茶代含む)

※定員 30 名程度(先着順)

18:00～ 理事会 会場:どんどんどんの森(アバンセ) (佐賀駅から徒歩約10分)

11月8日（土）

会場:佐賀大学本庄キャンパス

8:30～ 受付開始 ※受付場所 教養教育2号館1階フロア

9:00～ 研究発表Ⅰ (会場:教養教育2号館2103教室他2教室)

12:00～ 昼休み

13:00～ シンポジウム「スポーツとまちづくり」(会場:教養教育2号館2101教室)

司会 山口 タ妃子(佐賀大学 教授)

13:00 開会挨拶 日本都市学会会長 山崎 健

九州都市学会会長 石川 雄一

13:15 基調講演 佐賀市スポーツ政策アドバイザー 宮城 亮 氏

14:25 パネルディスカッション

パネリスト

白井 誠 氏(SAGAサンライズパーク(株)SAGAサンシャインフォレスト 事務局長)

山田 健一郎 氏(佐賀未来創造基金 理事長)

笠原 美鈴 氏(SpoWell Lab株式会社 代表取締役CEO)

角田 幸太郎 氏(佐賀大学経済学部 教授)

コーディネーター

山下 宗利(放送大学佐賀SC 所長)

17:00～ 日本都市学会賞授賞式(会場:教養教育2号館2101教室)

17:30～ 日本都市学会総会(会場:教養教育2号館2101教室)

18:30～ 懇親会(会場:第2生協かささぎホール2階(佐賀大学内))

20:30 終了

11月9日（日）

会場:佐賀大学本庄キャンパス

9:00～ 研究発表Ⅱ (会場:教養教育2号館2103教室他2教室)

日本都市学会 第72回大会 研究発表プログラム

11月8日（土） 研究発表 I

< 第一会場 > スポーツ・文化・公共空間 (9:00～11:35)

- 1101 地方都市における運動公園のリブランディングに関する研究
—静岡県草薙総合運動場を事例に—
牛場 智(静岡大学)
- 1102 大学生を地域スポーツの担い手とした中学生対象スポーツ教室の実践と意義
—広島大学ソフトテニス教室を事例として—
○横川 知司(広島大学大学院)、神田 颯(広島大学大学院)
- 1103 多文化地域におけるまちづくり
大和 里美(大阪経済大学)
- 1104 ボートレース事業のイメージアップに関する経済学的考察
—北九州の事例を中心とした考察—
田鹿 紘(倉敷市立短期大学)
- 1105 水族館は何を見せようとしているのか
吉野 英岐(岩手県立大学)
- 1106 ストリートミュージシャンは何を期待されているのか
—柏駅前事例研究—
○五十嵐 泰正(筑波大学)、松山 礼華(無所属)

< 第二会場 > 地域振興・産業・人材育成 (9:00～11:55)

- 1201 地方創生1.0の人口動態と地域特性：四国4県旧市町村単位の比較検証
大久保 武(愛媛大学)
- 1202 中小製造業におけるリスクリングの効果に関する考察：岐阜県内企業を事例に
○後藤 誠一(岐阜大学)、三井 栄(岐阜大学)
- 1203 中国における農村CEOの現状と課題
WANG LUHUA(弘前大学大学院)
- 1204 大阪市生野区における公民連携による「ものづくり産業」の持続的な発展に向けた取り組み
石原 肇(近畿大学)
- 1205 気候変動・再生可能エネルギー施策に関する全国基礎自治体調査から
○大塚 彩美(東京大学)、兼松 祐一郎(東京大学)、菊池 康紀(東京大学)、
栗島 英明(芝浦工業大学)
- 1206 地域課題の解決と人材育成に関する実践的研究
—福岡市地域を対象に—
中村 由美(中村学園大学)
- 1207 大学がバックボーンのコレクティブ・インパクトと地域活性化
—宮城県石巻市を例に—
千葉 真哉(東北学院大学／石巻専修大学大学院)

< 第三会場 > 観光・地域プロモーション(9:00～11:30)

- 1301 ジオツーリズムによる地域振興:アイスランドと日本の比較
青木 勝一(文教大学)
- 1302 ファンツーリズムの商品化による地域の後景化
—商品生産者に対するインタビュー調査から—
宮島 亮(東京藝術大学大学院)
- 1303 古都の憂鬱
—京都市祇園甲部花街のオーバーツーリズムを中心に—
中原 逸郎
- 1304 ウォークラリーを活用した地域プロモーション施策の有効性に関する研究
○小栢 慎一郎(大阪成蹊大学)、海野 大(大阪成蹊大学)
- 1305 地域の隠れた観光資源の発掘と活用に関する研究
○内田 絢汰(大阪成蹊大学)、海野 大(大阪成蹊大学)
- 1306 仮想MaaS実験による地方観光地の購買活動に与える影響
○小嶋 元基(東海大学)、梶田 佳孝(東海大学)

11月9日(日) 研究発表Ⅱ

< 第一会場 > 災害・防災・都市安全(9:00～11:30)

- 2101 能登半島地震被災地における来訪者数の動向
○松嶋 慶祐(公益財団法人九州経済調査協会)、三井 栄(岐阜大学)
- 2102 歩車自転車混合のセルベース富士山噴火避難モデルについて
○鈴木 正樹(沼津高専)、沖 夏里武(沼津高専)、上久保 匠悟(沼津高専)、
小宮山 敦大(沼津高専)
- 2103 被災経験を生かす避難所運営ゲームの製作
麦倉 哲(岩手大学・名誉)
- 2104 感染症・災害の外部性を考慮した都市の人口密度
—コロナ禍における関東周辺データを用いた推計—
米本 清(高崎経済大学)
- 2105 阪神淡路大震災後の土地区画整理事業地区における住宅継承
—震災30年後の神戸市A地区住民質問紙調査より—
西野 淑美(東洋大学)
- 2106 自販機荒らし行為発生可能性指数の推定
—北九州市小倉都心を対象として—
○濱岡 建太朗(九州工業大学大学院)、寺町 賢一(九州工業大学)、
図師 耕平(九州工業大学大学院)

< 第二会場 > 都市開発・住宅・インフラ(9:00～11:55)

- 2201 東京23区における老朽マンションの管理状況
由井 義通(広島大学)
- 2202 日仏における持続可能なモビリティの改善にむけた公共交通再生の動向
山下 博樹(鳥取大学)

- 2203 住民満足度調査と人流データで検証する住民目線のまちづくり
—近鉄大阪線長瀬駅・弥刀駅周辺の都市再開発を事例に—
田中 晃代(近畿大学)
- 2204 地方都市におけるマンション開発を問う
—高崎市中心部を事例に—
西山 弘泰(駒澤大学)
- 2205 条例による景観保全体制の再構築
—ニセコ町の建築ガイドライン策定経緯を事例として—
野村 理恵(北海道大学)
- 2206 都市公園の維持管理とコスト削減に関する研究
○吉野 旬音(東海大学)、梶田 佳孝(東海大学)
- 2207 駅前ロータリー内の人流と車両交通との関連性について
○稲葉 健太(東海大学)、梶田 佳孝(東海大学)

<第三会場> 福祉・社会政策・行政(9:00~11:55)

- 2301 ノーマライゼーションにおける障害者教育の研究
—都道府県計画における通常学級—
増田 金重(無所属)
- 2302 地方公共団体における事務事業の研究開発
—政策トライアル枠予算を事例として—
○坪井 秀次(静岡大学)、黒田 伸太郎(九州共立大学)
- 2303 多元的プラットフォームを往還する自治体職員
—地方都市における事例分析—
○黒田 伸太郎(九州共立大学)、坪井 秀次(静岡大学)
- 2304 市民の政府論からの地方分権改革の可能性
檜 貢(NPO法人田村明記念・まちづくり研究会)
- 2305 移動販売等が孤立・孤独予防に資する可能性についての考察
和田 真理子(兵庫県立大学)
- 2306 地域包括ケアシステムにおける日常生活圏域の変化
池添 純子(鳴門教育大学)
- 2307 都市規模とウェルビーイングの地域格差
—主観的幸福度における都市・農村勾配の実証的検討—
○豊田 哲也(徳島大学)、奥嶋 政嗣(徳島大学)、牧田修治(大阪経済法科大学)

一般研究発表 司会者一覧 (発表時間20分・質疑を含む)

8日(土) 9:00-11:55 第一会場、第二会場は 11:30終了予定	第一会場		第二会場		第三会場	
	スポーツ・文化・公共空間		地域振興・産業・人材育成		観光・地域プロモーション	
	1101~1103	阿部亮吾	1201~1204	児玉浩嗣	1301~1303	田中晃代
	1104~1106 総括	根田克彦	1205~1207 総括	松村 茂	1304~1306 総括	井澤知旦
9日(日) 9:00-11:55(30) 第一会場は 11:30終了予定	第一会場		第二会場		第三会場	
	災害・防災・都市安全		都市開発・住宅・インフラ		福祉・社会政策・行政	
	2101~2103	西野淑美	2201~2204	川瀬正樹	2301~2304	豊田哲也
	2104~2106 総括	大塚俊幸	2205~2207 総括	久 隆浩	2305~2307 総括	磯部友彦

■ 発表者への連絡

- (1) 発表時間は**質疑応答を含めて 20 分**です。
- (2) レジューメ・資料等を配布される方は、各自 50 部ご用意下さい。会場ではコピーは致しません。
- (3) 会場にはパソコン(Windows PC)とプロジェクターをご用意しております。発表にパワーポイント等を使用される場合は、各分科会の開始時間の 15 分前までに、会場のパソコンに必要なファイルをコピーしておいて下さい。なお、パソコンはネットワークには接続されておりません。ファイルは USB メモリにてご持参下さい。
- (4) ご自身のパソコンを使用される場合は、各分科会の開始時間の 15 分前までにプロジェクターとの接続を確認して下さい。また、念のため USB メモリでもファイルをご持参下さい。

■ 会場までのアクセス

(1) 最寄駅までのアクセス

大会会場の最寄駅は長崎本線・佐賀駅になります。最寄駅までのアクセスは、以下の経路を参考にしてください。

鉄道

博多駅—(JR鹿児島本線・JR長崎本線)—佐賀駅

九州新幹線新鳥栖駅—(JR長崎本線)—佐賀駅

飛行機

福岡空港—(福岡市営地下鉄)—博多駅—佐賀駅

福岡空港—(西鉄高速バス)—佐賀駅バスセンター

佐賀空港—(佐賀市営バス)—佐賀駅バスセンター

(2) 佐賀駅(佐賀駅バスセンター)から会場までのアクセス

佐賀駅(佐賀駅バスセンター)から会場までは、

市営バス(約 15 分)もしくはタクシー(約 10 分)をご利用ください。

いずれもバス停「佐賀大学前」下車

佐賀駅バスセンター「4 番のりば」から市営バス

【4 番】佐賀大学/佐賀女子短大・高校線(中央大通り・辻の堂・佐賀大学前経由)

【11 番】佐賀大学・西与賀線

【12 番】佐賀大学・東与賀線

【63 番】佐賀女子短大・高校線(紡績通り・与賀町・佐賀大学前経由)

佐賀市交通局ホームページ <https://www.bus.saga.saga.jp/diagram/index.html>

佐賀大学ホームページ <https://www.saga-u.ac.jp/access/>

なお、佐賀大学本庄キャンパスには有料駐車場もあります。構内への入構は原則として入構料金が必要で、出構時に料金精算をお願いします。料金は、入構から1時間毎に100円加算されます(最大料金の設定なし)。短時間利用(1時間以内)の場合は無料です。

■ その他

大会当日、学内の食堂は営業していません。会場周辺にはコンビニはありますが飲食店はございません。土曜日の昼食弁当を希望される方は、大会参加申し込みと同時に、Peatixよりご予約お願いいたします。

お弁当代 1,000円(お茶代含む)

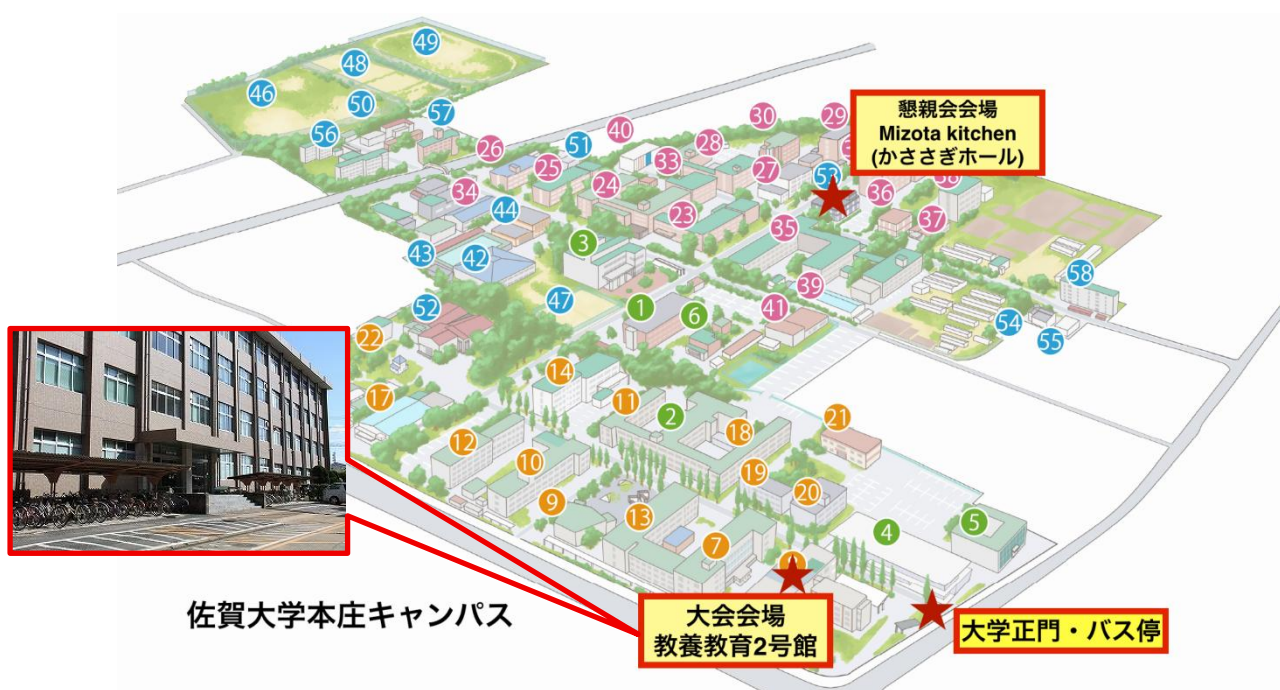
■ エクスカーション集合場所



- ※ 佐賀駅から中央大通り（県道29号線）を南へ直進、佐賀中央郵便局の角を東へ（徒歩約25分）
- ※ 佐賀駅バスセンターから乗車、「佐嘉神社前」もしくは「県庁前」で下車（バスと徒歩約13分）

■ 佐賀大学本庄キャンパス・会場移動について

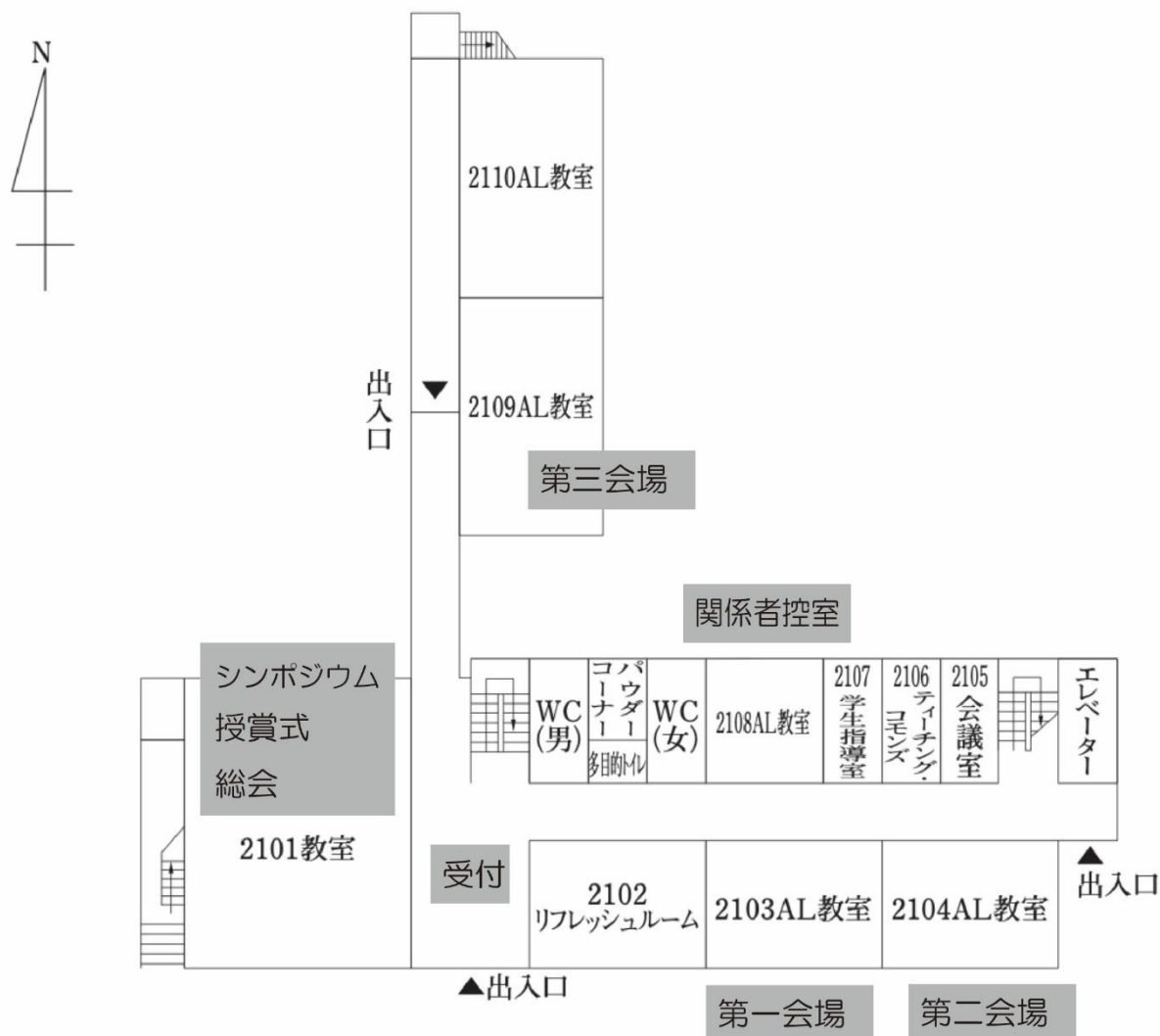
- ※ 「佐賀大学前」で下車して徒歩約1分、佐賀大学美術館の向かい側



■ 会場案内図

教養教育 2 号館

1 階



※ 会場名 (第一～三、控室等)に変更の可能性がございます。当日の会場案内に従ってください。

■ 宿泊について

佐賀市内には宿泊施設が大変限られておりますので、宿泊については各自で早急に予約していただくことをお勧めします。また鳥栖市、久留米市、福岡市からは会場までの所要時間が1時間程度です。久留米市と福岡市には多くの宿泊施設がございます。なお福岡市内はホテル代が高騰しております。

■ 問い合わせ先

〒840-8502 佐賀市本庄町1番地

九州都市学会事務局 (佐賀大学 芸術地域デザイン学部 山口・有馬)

TEL : 0952-28-8577

E-mail : ktoshigaku@gmail.com

※件名を「佐賀大会問い合わせ (ご氏名)」としてください。